

# 山城高の思い出

山城15回 五里 攻

人生五十年、十年儲けたと思ったとたん、生まれて初めての入院、我が命と対峙する事になろうとは？

この機会に、我が人生の旅、これも初めて、振り返つて見ることとする。

好き勝手に、我がままに、中途半端に生きてきた時が、後悔がないのに気づき、自画自賛で我が人生に乾杯！

その旅の途中、山城高三年間を思い起こせば、今の高校生と違い何でも有りの時代だった。もちろん、公ではなかつたが、恋あり、たばこに、飲酒、カンニング、代返に脱走。

スリリングで楽しく、ワクワクし、キラキラした毎日だった。またもや乾杯。

大声を出し、腹が痛くなるほど笑い、好きな子とすれ違うだけで、ドキドキし、走り、語り合つた。世の中を憂う奴も、自

分を憂う奴も。

バカもいっぱいしました。校門前での、壱円、五円カンパ（コンビニ代+たばこ＝九十円）。下校時の京商からのコロッケカンパ。何ヶ月も風呂に入らず、散髪せず、髭を剃らない酒一升のかけ。出席帳尻合わせで、毎年殺される、叔父叔母、祖父祖母。期末テスト後、年間の集計点数を聞き回り、胸を撫で下ろす小生（たしか、一科目二〇〇点以下赤一で、追試。三科目赤一で落第）。

成功率0%の河原町でのナンパ。他に？登校前の、早朝釣り。おにぎり五個で一～三日の北山昆虫採集（主に蝶）。夏休みの九州までの自転車旅行。

部活、野球の応援、文化祭の演劇、生徒会長の応援演説、餅屋の鏡餅作りとキコリの手つだいのアルバイト。

あの手この手のカンニングの考案、実施（本当に、カンニンゲだけは、必死でした）。

勉強は、まるでしませんでした。でも小生のまわりには幸運にも、賢い友人に恵まれていた。たった一ヶ月の受験勉強での幸運合格。その後四十二年間の運の良さ。

名声を勝ち取った訳でもなく、大金を得る事もなかつたが、十人分も、二十人分も人がしたいと思う事を我がままいっぱいやつてきた。数多くの素晴らしい友に恵まれ、素敵な女性との

恋の数々。行き先言わず、帰る日言わずの気ままバイク旅。我が人生悔い無し。乾杯!!（あきれ返る家族が、存在するのだが）。

行きたい所に行き、創りたいものを創り、かなりの贅沢もした。後ろを振り返る事もなく、退屈な時を感じずに過ごしたのは、やっぱり幸運としか言い様がない。

悲しみや、憤りも有つたと思うのだが、思い出せない。

今も、頭の中は宇宙。今までどうり完成のない、中途半端な旅ですが、そんなもんです、我が人生旅は！ 乾杯